

自主防災組織で地域を守る

自分たちの地域は自分たちで守るという考えのもと、地域で自発的に防災活動を行う組織を自主防災組織といいます。大きな災害が発生した場合、役場や消防などの公的機関だけでは十分な対応が難しいと考えられます。このような時に、自主防災組織が中心となって人命救助や避難誘導を行うことで被害の軽減につながります。日頃から地域で連携して訓練に取り組み、防災意識を高めていきましょう。



地域の防災活動を紹介



二渡公民会長
山下 信夫 さん

■訓練で防災意識を高める

二渡公民会では、毎年5月に防災訓練を行っています。班長を中心に危険箇所を確認しながら、安全な経路で公民館に避難します。移動の際は、高齢者や子どもへの配慮も忘れません。避難後は、各年度で工夫した訓練を行っており、消防団の協力で消火器を使った消火訓練や消火栓の位置確認、放水訓練をしたこともあります。毎年訓練に参加する人も多く、防災意識が高いと思います。

■防災マップの活用

訓練の機会に防災マップを使って地域の危険箇所を説明しています。実際にマップを見て理解している人は少ないので、訓練の機会に行っています。昨年7月の豪雨災害のときは、皆さんケガなく避難できました。

■地域で助け合う環境づくり

新型コロナの影響で外出や会合が減ってしまいがちです。防災訓練は、日頃会えない人とコミュニケーションがとれて安否も分かるので、地域のつながりを強める良い活動だと思います。また、心配なのは高齢で足腰が弱く訓練に参加できない人のことです。一人暮らしの高齢者も多く、災害時に一番弱い立場になるので、日頃から地域で見守りや声掛けを続け、協力して助け合う環境づくりが必要だと感じます。



ロープを使った避難誘導訓練



消火栓の確認

地域の防災をサポート 問 総務課 危機管理係 (内線2216)

避難所運営の支援

町の指定避難所とは別に、自治公民館や集会所などを届出避難所として登録した場合、開設1回につき5千円を補助します。また、避難が長期化した場合は、必要に応じて救援物資を支給します。

防災力の強化

防災訓練や防災計画の作成などにかかった費用に対し、最大5万円を補助します。

資格取得や研修

防災士や防災推進員などの資格取得や研修にかかった費用に対し、1/2を補助します。研修先が県内の場合、全額補助します。



防災の力

令和3年7月豪雨では、町内の観測史上最大の雨量を計測し、住宅や農地、道路などが甚大な被害を受けました。これから大雨や台風など災害が発生しやすい時期を迎えます。日頃から、防災マップで危険箇所や避難経路を確認して、家庭や職場で共有しましょう。また、非常用持出袋に3日分の水や食料を入れて、常に備えておきましょう。

防災の基本 警戒レベルについて知る

警戒レベル 1 心構え	警戒レベル 2 避難行動確認	警戒レベル 3 避難準備	警戒レベル 4 すぐ避難	レベル4までに必ず避難！	警戒レベル 5 命の危険 安全確保
早期注意情報	大雨、洪水 注意報	高齢者等避難	避難指示		緊急安全確保
防災情報を 入手する	避難所や 避難経路を 確認する	高齢者以外も 移動に時間の かかる人は 避難する	危険な場所 からすぐに 全員避難する		すでに安全な 避難ができず 命が危険

防災の基本 日頃から情報を入手する

災害時だけでなく、日頃から防災に関連する気象情報や避難情報を確認しましょう。

さつま町
公式LINE



発令中の避難情報や開設している避難所を知ることができます。

さつま町
安全安心
情報メール



発令中の避難情報や開設している避難所を知ることができます。

早よ見やん
川内川



雨量や鶴田ダム、川内川の水位を知ることができます。

鹿児島地方
気象台



現在の雨量や今後の気象予報を知ることができます。

Yahoo!
防災速報



気象警報や大雨予報の通知を受け取ることができます。